

夕刊 新報 行發日二月八

露臺

其角の句に『夕涼みよく』
ぞ男に生れたる。といふの
氣があるだけに涼しさを呼
ぶ。男は毛髪も出すが
女はさうもいらない。帯
なんか暑さうに締めてゐる
ふだだが、今の女は男
以上に薄物で纏つたり、
肩でも背でも半気で男に
させる。外國ではネット、
レス(網)が流行しては
めた、かうなると男女何れ
が涼しうなのかわ問題だ
ない。

入山

男女を觀察すると、男は
身長高く山に涼味ある事
山の如く尖つた場所が涼し
い。女は山だつたりして
味がある。山は涼しさが下
へ流れる。男は山頂より涼
冷かしてゐる。同じ
男の豪壯、淡白、勇氣、威
厳、女は執拗、眩暈、自
担、陰影と一つづつ異な
る。それは山頂と麓の異
なりの差であらうと思ふ。漢
字も山の字も、山頂と麓
をつめてゐると異なると、
波を見てゐると、羊が無
数に並んでゐるやうに見え
る。山の字はそこら來
のだらう、物の音を表す字
を偏に付けたものもあるが
「山」なんか偏の偏で、
「山」を水に結びつけた
のらしい、山は假りに

大謀網

大謀網 (一)
島田忠夫
○あかつきの雲と夕陽の紅とくも動きやま
な海
○發動機船すてに港に音とよめ開きながらに法
螺貝きこゆなり
○船の上へ身をふるふ寒さは白く沖へのぞめ
ばあがる潮浪
○むじむじと油匂へる築港を船出でたつと揺り
ゆる潮
○おきおき港のうちは騒だちて大謀網の船並び
出す



島田忠夫

誰が殺したか

誰が殺したか
(86) 今野賢三作
龍造寺 磨
春子のすがたが廊下へ消
えたと待かねたあつた。思
房枝子はこらへない思
ひを、ワツと聲をあげるよ
うにして泣き伏した
咲山は房枝子の肩に手を
のたむけ、かうしてかうか
「僕が殺したか、ゆるし
下さい僕は春子さんに誘
惑されたのです僕に責任
かないなどといへません
……」
「はんとに、わたし、ど
うして」
「おぼろげな光をたぐひ
ながら、わたし、この際別
れたいと思ひます」
咲山は背を回して「き
うにやつとつた
「あ、わたし?」
「さうです」
「いけませんわ! いけませ
ん! わたしは、いけません
わ!」
房枝子は泣ききりつな
がって、「それ、どんな理由だ
とつしやるの?」
「それを語ることは、僕
としてまづたく苦しいこ
とです」
咲山はまた溜息をついた
房枝子は、涙の眼をみは
つて耳をかたむけた
「……」

「おぼろげな光をたぐひ
ながら、わたし、この際別
れたいと思ひます」
咲山は背を回して「き
うにやつとつた
「あ、わたし?」
「さうです」
「いけませんわ! いけませ
ん! わたしは、いけません
わ!」
房枝子は泣ききりつな
がって、「それ、どんな理由だ
とつしやるの?」
「それを語ることは、僕
としてまづたく苦しいこ
とです」
咲山はまた溜息をついた
房枝子は、涙の眼をみは
つて耳をかたむけた
「……」

御位牌と
佛壇佛具は
品よく
値段の安い
橋本屋へ
平新川町 電話一六三

お新益提灯に御注意!!!
近々各地に於て再製提灯が市場へ出
る爲めお贈りの方も誠に迷惑され
又失態にもなりまふ。製造者間に相談の上
今年度の品物は必ず昭和十一年製の赤色マ
ークを入れたてあります。御買求めの
際は必ず御忘れなく昭和十一年製マークと御
指名下さい。
昭和十年七月 提灯同業組合

新益の御用下サイ
御戒名人燈……特製秋草・蓮花
其由御下サイニ依りス模様入
岐卓提灯各種……
カナラズ良ク安ク御願致シマス。是非御下サイ。
平四丁目 スガノヤ提灯店 電話 95

増車御披露
陸の王者として定評ある流線型タ
チアラザース一二輛増車致しま
した。タクシーを御使用の際は増車
揃の尼子タクシーに御用命を御待
致して居ります。
大型貨切専用車も御座います。
尼子タクシー 電話六四〇

増車御披露
陸の王者として定評ある流線型タ
チアラザース一二輛増車致しま
した。タクシーを御使用の際は増車
揃の尼子タクシーに御用命を御待
致して居ります。
大型貨切専用車も御座います。
尼子タクシー 電話六四〇

山光堂佛具問屋
平四丁目 電話 550
造花博士 花
信

新益用佛壇位牌
平四丁目 電話 550
造花博士 花
信

新益の戒名人提灯
例年の通り御安く御注文に應じ
ます。

菅野屋商店
電話一五七番

福多屋
電話一五七番

御位牌と
佛壇佛具は
品よく
値段の安い
橋本屋へ
平新川町 電話一六三

貸家廣告
金子提灯店

加藤營業所
電話三二番

盛夏の服の大賣出し

盛夏の服の大賣出し

全國選抜野球大會の 東北選抜に磐中勝つ

つふ炎熱の福島市営球場で 颯爽たる高月健児の快奮闘

全國中等選抜野球大會東北選抜三隊に凱歌揚げる石井小浪氏である。北陸選抜中隊と中隊戦は、準決勝戦は磐中と才を交す。今日午前十時半より福島市営球場で米澤先攻で開始、磐中軍健全の守備に得意の打撃を逞くし結局八対三のスコアで捷つた。

白熱の練習裡に 鑛山庭野球迫る

磐炭、入山、古河車出場

鑛山スポーツ界の豪華版、て開催されるが地方からは仙臺鑛山監督局管内鑛山對鑛山、入山、古河の三大院。抗球大會は、昨日十二日仙臺鑛山が出場し金鑛山を破る。理科學コートの於て、同野々々目下炎熱と闘ひ連日猛球大會は同十二、十三兩日練習中である。

林産共進會出品勧誘 平町で關係者に通知

平町では来る十月十五日、尚各倉庫の州荷左の如し。五日開鑛山で開かれる。東北六縣林産共進會に出品を勧誘し、木製品等を出展すべし。町内關係者にこれが出陣方を通知した。

地方米保合 昨日の取扱成績

石城販聯の米共販は昨日行つたが、出荷千石で平。玉川兩倉庫が不調に終つた外相場左の如く最高十。一圓二錢で前同値と保合ひであつた。

平町現在戸口

戸口平均五人七分強。四十八百八十八人。平町役場最近の調査による戸口は四千八百五十九戸で人口は二萬七千七百七十七名で、一戸平均五人七分強に當つて居る。

昨日の焦熱地獄に 閉口垂れる労働者

町では水節約宣傳に大奮

昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。赤井役場上棟式、赤井村。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

馬に用意の餌を與へ 落着いて盗みに掛る

一風呂浴びて汗を流した不逞さ加減

馬に用意の餌を與へ落着いて盗みに掛る。一風呂浴びて汗を流した不逞さ加減。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

米専門泥二年越の罪状

米専門泥二年越の罪状。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

逃出した少年

逃出した少年。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

白水阿彌の第二回修理

白水阿彌の第二回修理。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

暑熱に跋扈する 無鑑札の水水屋

役場警察が協力取締る

暑熱に跋扈する無鑑札の水水屋。役場警察が協力取締る。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

暑さとしどけ無き 寢室を覗き廻る

厄介なキ印と判明

暑さとしどけ無き寢室を覗き廻る。厄介なキ印と判明。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

昨日の早朝早業刑

昨日の早朝早業刑。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

吉田眼科病院

吉田眼科病院。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

耳鼻咽喉科専門

耳鼻咽喉科専門。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

本年新盆に相當り候へ共提灯其他の 供物等御贈與の事因く御辭退申上候

本年新盆に相當り候へ共提灯其他の供物等御贈與の事因く御辭退申上候。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

水菓子界の寵兒 フルーツケーキ製造器

水菓子界の寵兒フルーツケーキ製造器。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

耳鼻咽喉科専門

耳鼻咽喉科専門。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

吉田眼科病院

吉田眼科病院。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

耳鼻咽喉科専門

耳鼻咽喉科専門。昨日の焦熱地獄に閉口垂れる労働者。町では水節約宣傳に大奮。

ポニー

活動撮影機 ¥18.00
活動映寫機 ¥17.00
西村屋藥舗
平二・電三

フルーツケーキ製造器

資金僅二十圓で一ヶ月二百圓以上を生み出金儲けの源泉フルーツケーキ製造器の賣行を見よ！
一日も早さが、カッタジ進め
夏の飲みものはフルーツから
高級なる原料各種の果實を使用し美味と遊樂に富む
小兒さんが召上つて各割水と遊ひ衛生的な飲物、一個一錢で是非一度は御試飲を願ひます。
東京惠比壽屋商會 磐城平町二丁目
特約店 日進堂本店
電話六三五番

耳鼻咽喉科専門

平町田町(電六九一)
病室完備
自炊ノ便アリ
山内醫院
醫學士山内亨吉

御會葬御禮

八月一日
平町南町
父 酒井國三郎
母 酒井義孝

疾

大好評...
フタバの磁氣
平町仲町(電話一九三番)